



No 2772

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗



担当：酒井委員

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テ
R
I
マ
マ



世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テ
R
I
マ
マ



奉仕の理想車を走らせよう!!
Let's drive your ideal car of the service!!

次回のお知らせ

平成28年3月10日 第2774回

- ・会員卓話：上野山 英樹 君
「職業奉仕が危うい」
- ・ソング：「我らの生業」

本日のプログラム

平成28年3月3日 第2773回

- ・会員卓話：井上 修平 君
「私の仕事を紹介します」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2772例会）

開催日 平成28年2月25日(木)

点 鐘 (中元会長)

会長の時間 (中元会長)

ロータリーの人道的奉仕理念である Service above self は誰がいつ作ったものかはわかりませんが、このモットーの原型となったのは、ミネアポリス・クラブ2代目会長で、果物卸売業のフランク・コリンズが1911年のポートランド大会で語った Service, not self であります。



この言葉はフランク・コリンズが提唱した言葉だと信じている人が多いようですが、すでにミネアポリス・ロータリークラブで定着していました。

1911年、ポートランド大会エキスカッションの即興演説で、Service, not self という言葉を、たまたまコリンズが引用したに過ぎません。

当時のロータリーは、会員同士なら安心して取引できるとする、物質的相互扶助活動が主でした。しかし、コリンズは会員の取引がさらに増えるように、会員以外の人も会員に紹介して、会員の事業が発展するように奨励しました。これがService, not selfの意味でした。

Service, not selfは決して、「無私の奉仕」とか「自己滅却の奉仕」とか言う宗教的あるいは人道奉仕的な意味ではありませんでした。

一方、シェルドンが提唱した、「He profits most who serves best」のモットーは「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」と言う意味で、職業奉仕の理念を表していま

す。

現在は「One profits most who serves best」に変わっていますが、シェルドンが提唱した後も、そのモットーが持つ意味には今も変化がありません。

しかし、ヨーロッパのロータリアンの多くはprofitsに対しての反発が強く、国際大会でこのモットーを廃止しようとする動きがかつて何度もありました。profitsという単語がキリスト教というバックボーンを持つ彼らの倫理観に強く抵触したのです。

ところが、わが国のロータリアンには、この「He profits most who serves best」のモットーが当初から幅広く受け入れられてきました。この理由は日本人の道德教育に関連するとも言われています。

その一つは、二宮尊徳の報徳思想であります。これは、神道、仏教、儒教などと、農業の実践から編み出された、豊かに生きるための知恵です。すなわち、至誠(誠を尽くす)、勤労、分度(自分の身に合った生活)、推譲(他に譲る)を旨として生きていくことで、人は物質的にも精神的にも豊かに暮らすことができるというのが報徳思想の根本的論理です。この考え方はシェルドンの奉仕の理念に通じるものがあります。

さらに、この理念は、我が国の近江商人、中村治兵衛宗岸が1754年、15歳の養嗣子のために書き遺した、売り手よし、買い手よし、世間よし、という「三方よし」の理念にも相通じるものとも言われています。

このようにシェルドンによって立ち立てられた職業奉仕の理念は、日本のロータリアン、特に戦前の教育を受けた人たちには、すんなりと受け入れられたものと推測されます。Service, not selfはいつの間にか、Service above self になり、その意味も相互扶助的なものから、人道的なものに変わりました。他方、He profits most who serves bestの職業奉仕理念は、シェルドンの提唱以来変わらず、ロータリーのDNAとも言えます。そして、この職業奉仕の理念を大切

にしてきた我が国のロータリーはまさしくロータリーの源流を歩んで来たと言えるのではないのでしょうか。

幹事報告 (上野山(栄)幹事)

- 1.国際ロータリー日本事務局経理室より2016年度3月のレートのお知らせ 1ドル=120円
- 2.国際ロータリー2640地区より「クラブ職業奉仕委員長会議の案内」 3月19日(土)13:30～16:00 テクスピア大阪(泉大津市) (岩本職業奉仕委員長へ)
- 3.ロータリー米山記念奨学会より特別寄付金明細書の郵送廃止に伴うアンケートについての文書が届く (嶋田(崇)米山副委員長へ)
- 4.地区 檜畑地区大会実行委員長より地区大会についてのお願い 2日目の県民文化会館の規模が収容人数に対して広いので、できるだけ途中退席をしないようお願いしたいとのことです
- 5.2015-2016年度ガバナーエレクト事務所より、3月5日、20日開催のPETSのプログラムが届く (松村会長エレクトへ)
- 6.ロータリーの友事務所より「ロータリーの友3月号」が届く (児島広報委員長へ)
- 7.例会変更 (後方掲示)
- 8.地区大会が目前です。参加される会員皆様、よろしくお願いいたします

委員会報告

*会長エレクト(松村会長エレクト)
「有田3クラブ次年度会長・幹事 合同会議」の報告
日時:2016年2月19日(金)
主催:有田南RC 於:「美よし荘」
出席者有田南RC 坊岡進君 田井伸幸君
有田2000RC 樋口明君、上野祥弘君
有田RC 松村秀一、橋爪誠治

- ・3クラブ合同例会の開催: 久々に開催した今年度の合同例会はとても良かった。またぜひやりたい。次年度は有田南クラブが担当する。
- ・3クラブ合同コンペ: 次年度は有田南クラブが担当、9月か10月に開催したい。



- ・3クラブ間の慶弔規定について:他クラブの現役会員が亡くなったとき、3クラブは全員に案内する。会長幹事は通夜か告別式に出席する。クラブからは香典は出さない。
- ・有田南クラブ創立40周年記念例会:2017年4月18日開催。
- ・有田郡市中学新人戦の優勝カップ:無い分を寄付してほしいと依頼があったと報告。
- ・IM2組の会長幹事会を7月か8月に開催し、新入会員オリエンテーション等、IM2組の会合を持つ機会をつくる依頼を確認し合った。

*親睦活動委員会(橋爪(誠)委員長)

- ①今週2/28(日)地区大会です。バス乗車の方へ本日本スケジュール表をお配りしています。よろしくお願ひします。
- ②先週の例会終了後、「iPad・タブレット講座(初級編)」を開催しました。参加いただいた皆様ありがとうございました。
- ③3月10日(木)例会終了後、米山奨学生ダーラーさんの送別会を経済クラブで行いますので、お時間のある方はぜひご参加下さい。



出席報告 (應地例会運営委員長)

本日の会員数27名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数23名
(出席規定免除会員8名)
88.46%
2/4 84.00%
MU:脇村君

ニコニコ箱の報告 (中村SAA)

中元君:今週の土曜日から地区大会が開催されます。会員の皆様、御出席のほどよろしくお願い致します。
上野山(栄)君:脇村さん、卓話で勉強させて頂きます。
脇村君:本日は卓話です。よろしくお願い致します。
成川(守)君:脇村君、卓話楽しみです。
上野山(英)君:脇村さん、本日卓話楽しみです。
岩橋君:脇村さん、卓話楽しみにしています。松村さん、先日はありがとうございました。
應地君:脇村さん、卓話を楽しみにしています。
嶋田(ひ)君:ipadの講習会、有難うございました。勉強しようと思っています。
酒井君:脇村さん、本日の卓話よろしくお願い致します。皆様、本日所用がありまして早退させて頂きま

す。申し訳ありません。
 橋爪(誠)君:脇村さん、本日の講座、ありがたく受けさせて頂きます。
 児島君:松村さん、珍しい資料ありがとうございます。脇村さん、卓話楽しみです。
 橋本君:孫がはじめて歩きました。14歩ですがこれからが楽しみです。
 松村君:脇村さん、勉強させていただきます。
 上野山(捷)君:脇村重徳さん、卓話楽しみにしています。
 嶋田(崇)君:脇村さん、卓話楽しみです。
 橋爪(正)君:脇村さん、卓話楽しみです。
 石垣君:脇村様、卓話楽しみにしています。先日、お世話になりました。
 宮井君:脇村さん、本日の卓話ご苦労様です。楽しみにしています。
 中村君:脇村さん、卓話御苦労様です。勉強させていただきます。



だと考えた。政治にも日常の生活にも道徳の基本となる「仁(思いやり)」が必要なことから、実業にこれが不要というはずはない、だから会社を経営するに当たっても、当事者が利するだけではいけない、会社の利益を追求するのは当然であるが、同時にこれによって公益を追求しなければならないと信じるようになった。

こうして渋沢は、「道徳によって経済もうまく回していける、企業社会も乗り切っていける」と考え、それらの象徴として「論語」と「算盤」を提唱した。これらは甚だ不釣り合いで懸隔したものであるが、この「算盤」は「論語」によってできている、「論語」はまた「算盤」によって本当の富が活動されるものであると捉え、「論語」と「算盤」を一致せしめようとするのが「道徳経済合一説」である。つまり、「嘘をつかず誠実に振る舞え。自分でなく相手の利益を第一に考えよ。それは事業と矛盾しない。正直に事業をすれば必ず満足のいく利益がついてくる」ということである。

さらに渋沢は、経営理念のあり方を説くのに、「子曰く、君子は義に喩り、小人は利に喩る」という論語を引き、必要な事業に投資をする場合、利益を無視するのではないが、どちらが先かといえば「義(責任)」を先に見ようとした。これは今風にいえば「企業の社会的責任」そのものであり、渋沢は世界の誰よりも早く経営の本質は「責任」に他ならないということを見抜いていたのである。渋沢が説いた仁義道徳に基づく「私利第2」の考え方は、まさにロータリーの基本となる理念である「Ideal of Service」を彷彿させる斬新な経営理念であるといえる。

孔子の時代から2500年、地球も生物も進化し、森羅万象みな進化のあとが見られる中で、果たして道徳も進化したと言えるだろうか。残念ながら、答えは「ノー」であろう。今こそ、「富をなす根源は何か、それは仁義道徳」という精神に基づいた経営戦略の確立とその実践に取り組まなくてはならない。

卓話

「渋沢栄一を支えた論語の理念」
 ～「R奉仕理念」を彷彿させる経営理念とその実践～



会員
 脇村 重徳 君

2009年、米国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻したことに端を発して、続発的に世界的金融危機が発生した。いわゆる「リーマン・ショック」である。これを「道徳なき経済の失敗」と位置づけたとき、その対立軸にある「道徳ある経済」を掲げた渋沢栄一の存在が想起される。

明治、大正、昭和の時代にかけて、日本の近代産業発展に多大な貢献をした渋沢は、実業家にとって「論語」を金科玉条の教訓と捉え、判断に迷ったとき「論語」に基づく尺度を持って決めれば過ちを犯すことはない信じて、実践実行に努めた。「論語」は、千数百年にわたり、儒教思想の真髄を伝えるものとして後世に大きな影響を与えてきたが、その学説が今日に伝えられ、今なお尊重されているのは、その所説が偉大な真理を説いているからである。

孔子が説いた多くの教えの中で、渋沢は「もし博く民に施して能く衆を濟う有らば如何。仁と謂うべきか。子曰く、何ぞ仁を事とせん。必ずや聖か」という言葉が最も重要

閉会・点鐘 (中元会長)

3月10日(木)例会終了後
 ポンピバックダーラーさんの送別会

経済クラブにてダーラーさんを囲んで茶話会を開催します。
 お時間にある方はぜひご参加下さい。

